

平成21年度 基盤整備事業について

防 衛 省

1. アプラ地区基盤整備事業

計 約174億円

- 我が国が負担する基盤整備事業は、海兵隊が専ら利用する地区における既存の基幹ユーティリティ(電線、上下水道管等の敷設)の改修や関連した敷地造成(事業対象面積・約6.5ha)。この他の基盤整備は米側が負担。
- 今後、港湾運用部隊司令部庁舎(延べ床面積・約3,100㎡)や揚陸支援機能の整備がなされる予定。日本側が負担する基盤整備については、海兵隊の所要に基づき整備されるもの。

<具体的な工事内容>

- ① 基幹ユーティリティの敷設工事として、電線、上下水管、並びに蒸気管の整備。
- ② 基幹ユーティリティの敷設に関連する設備工事として、電気設備(変圧器等)、蒸気・圧縮空気設備、油性廃棄物処理施設の整備。
- ③ 舗装復旧を含む敷地造成及び芝張り・植栽等。

<アプラ地区基盤整備事業の工事内容の内訳>

- (1) 基幹ユーティリティ(約143億円)
- (2) 敷地造成(約5億円)

他

<アプラ地区において米国が建設を予定している施設>

- 同地区において米国が建設する予定の施設の内容等は、米側において検討中。

平成21年度 基盤整備事業について

防 衛 省

2. アンダーセン空軍基地北部地区基盤整備事業

計 約28億円

- 海兵隊の所要に基づき、航空管制関連施設(司令部庁舎を含む)を含めた航空運用機能が整備される予定。基盤整備事業としては、我が国が、正門の整備や正門から北部地区へのアクセス道路の整備を行い、この他の基盤整備を米側が負担。
- この北部地区は、在沖米海兵隊の移転に伴い、新たに各種施設が必要となるところ、我が国が負担する正門やアクセス道路は、これら施設整備に必要不可欠なもの。

<具体的な工事内容>

- ① 正門の整備として、正門の他、車両検査施設及びパス・ID発行所の整備。
- ② アクセス道路の整備として、敷地造成、道路舗装及び芝張り・植栽、並びに、電線、上下水管、通信線等の基幹ユーティリティの整備。

3. フィネガヤン地区基盤整備事業(第1段階)

計 約129億円

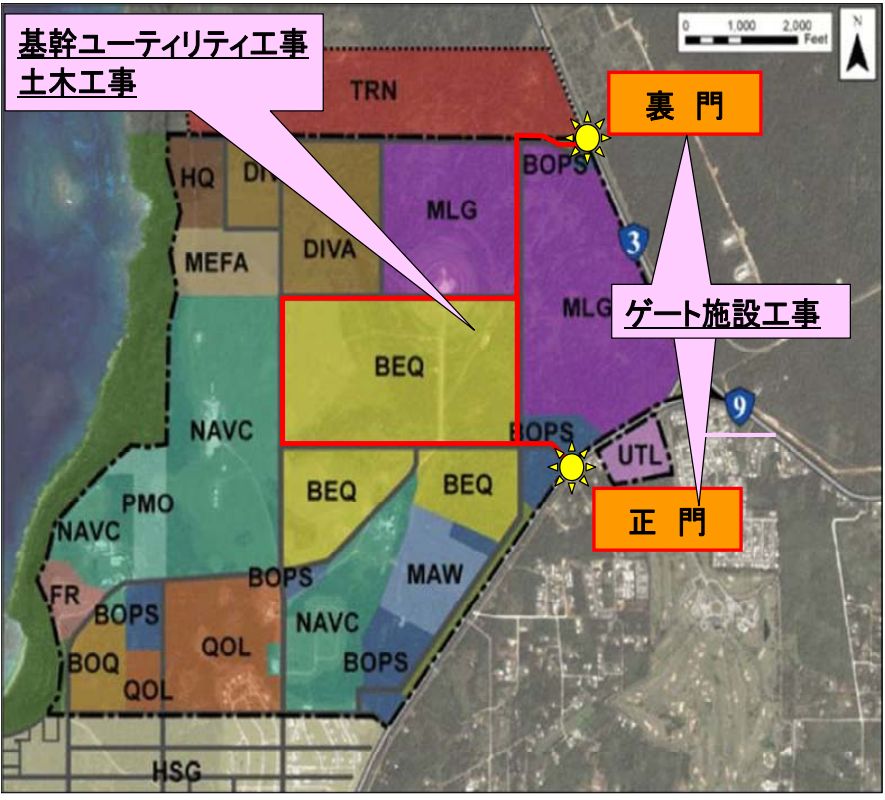
- フィネガヤン地区において、正門及び裏門の整備、並びに下士官用隊舎地区用地における敷地造成及び基幹ユーティリティの整備を行うもの。
- このフィネガヤン地区には、司令部庁舎、隊舎、生活関連施設などの海兵隊の主要基地機能が整備される予定。

<具体的な工事内容>

- ① 正門及び裏門の整備として、正門・裏門の他、車両検査施設及びパス・ID発行所の整備。また、下士官用隊舎地区における敷地造成の他、道路舗装及び芝張り・植栽。
- ② 基幹ユーティリティの整備として、電線、上下水管、通信線等の整備。

平成21年度 基盤整備事業(イメージ)

フィネガヤン地区基盤整備事業(第1段階)(イメージ)



アプラ港基盤整備事業(イメージ)



※BEQ=Bachelor Enlisted Quarters 下士官用隊舎

アンダーセン空軍基地北部地区基盤整備事業(イメージ)

